**ＡＬＳ阻害剤交差抵抗性イヌホタルイの防除法**

スルホニルウレア（ＳＵ）抵抗性雑草にも効果が高い新規のアセト乳酸合成酵素（ＡＬＳ）阻害剤（プロピリスルフロン・ピリミスルファン・ペノキススラム等）が急速に普及している。

しかし近年、ＡＬＳ阻害剤に対しても抵抗性を示す（以下、ＡＬＳ阻害剤交差抵抗性）雑草の発生が認められており、県内でもＡＬＳ阻害剤交差抵抗性イヌホタルイが確認されている。

１　ＡＬＳ阻害剤交差抵抗性イヌホタルイに対する防除法

新規ＡＬＳ阻害剤を適正使用したにも関わらず、特異的にイヌホタルイが残草した場合は、ＡＬＳ阻害剤交差抵抗性であることを疑う必要がある。

その場合は、イヌホタルイに対して効果が高くＡＬＳ阻害剤と作用機作の異なる成分と、その成分を含む除草剤を使用する。有効成分及び散布適期は下記表の通り。

　表　ＡＬＳ阻害剤交差抵抗性イヌホタルイに有効な成分一覧

|  |  |
| --- | --- |
| 有効成分 | 散布適期 |
| ベンゾビシクロン | ２～４葉期注１）まで |
| テフリルトリオン | ２～４葉期注１）まで |
| ブロモブチド | ２～３葉期注１）まで |
| クロメプロップ | ２葉期まで |
| シメトリン・ＭＣＰＢ | ２～３葉期注１）まで |

　注１　除草剤ごとに異なる

注２　農薬登録は令和２年１月10日現在

２　参考文献

　ＡＬＳ阻害剤交差抵抗性イヌホタルイの確認.宮城県古川農業試験場・水田利用部. 普及に移す技術第89号/参考資料4　水稲（平成25年度）